



発行



砕石部

新年度を迎えて

政権交代後、経済は明るい話題が多く聞かれるようになりました。しかし、地方では値上げの波が先にきて需要は後からついてくるのではと危惧されます。事業の継続可能な適正価格の維持が課題となると思われます。その他砕石業界としては「安全」「環境」「資源確保」「人材育成」等々、課題を抱えています。今年も努力してまいります。

戦闘開始

3月3日より砕砂プラントの本格稼働を再開した。再開までは寒さとの戦いであったが、再開後は厳しい寒さもなく、ほぼ順調である。現在、冬期間に減少したストック量を確保すべく残業により運転している。

砕砂プラントは昭和56年に稼働を開始して以来30年余りが経過しており、主要設備は更新しているものの稼働時間の増加に伴うトラブルの顕在化が予想される。質と量を確保した生産とメンテナンスのバランスを取りながらの一年のスタートである。



冬の落とし物

雪が解けると、道路の汚れが目につくようになる。というわけで、運送の運転手さんから県道の清掃をしていただいた。事務所の入り口から二戸側に300m、交代側に100mほどを一日がかりで、縁石の周りや歩道に溜まった土砂を回収してもらった。2トン車で3~4台分位もあった。



ちりも積もれば山となる。有難くない冬の落とし物である。運転手さんありがとうございました。

運送に新人



福田運送に、柴田和良さん(42歳)が入社しました。砕石土木の業界は初めてですが、明るい性格でへこたれず頑張りま〜す。

機能と進歩

住友建機さんのご厚意により油圧ショベル(SH120)の新型機をデモで使用させていただいた。排気ガス対策、燃費向上、後方270度バックモニター等、改良された機械である。産廃プラントで稼働し軽作業ではあったが、燃費も100/hを大幅に下回る水準であった。ただ、モニターを見ながら旋回すると目が回ります。住友建機さんありがとうございました。



編集後記 いよいよ春が来ます。と、同時に新年度もスタートです。一年間ご愛顧いただきましてありがとうございました。今年度はどんな年になるのか、皆様から忙しい！という声が聞こえてくる年であればよいなあ…と思います。頑張りましょう！

安 site ~ 成長戦略 ~

中学から高校に上がる時、志望した高校は男子全員坊主の決まりだった。比較的抵抗はなかったが、坊主にする位ならほかの学校へ行くという者も何名かいたような気がする。それでも時代錯誤だと思ったものだ。しかし、その時代錯誤の環境に入って「伝統だ」「バンカラだ」とバカ騒ぎしているうちに錯誤は時代に対するアンチテーゼなのだと思えるようになった。なんだかよくわからない混沌の中からイノベーションが生まれそうな気がしていた。

いきなり転じて砕石、骨材業界をみると良くも悪くも伝統(技術の継承)はある。イノベーションを求めていくためには、伝統の引き出しをひっくり返して混沌を作り出してみるべきではないか。その中から予想もしない反応が起こるかもしれない。反応を促進させるためには、熱(活気)が必要となるだろう。

バンカラとはしゃいでいた頃の熱気を思い出し活気のある業界を夢見るのである。

ある事情

諸般の事情により納品伝票を変えた。鼻の下が伸びただけと見えるかもしれないが微妙に変わっている。変えたことにより印刷設定をしなければならぬということで、パソコンのソフト屋さんに来ていただくことになった。印刷設定など大したことなく無いために思っていたが、日く「お宅の事務員さんの入力速度が速いのが悩みの種なんです。」とのこと。一秒間に10回の入力に正確に対応させるには、かなりの下ごしらえが必要なのだそう。

その話を聞いてテンキーをたたく音に耳をこらしてみたら、1秒間に6~7回は聞こえる。筆者は人差し指1本なのでせいぜい2回である。恐るべしと思ひ、たたいている所をみるとテンキーを指4本で打っている。ピアニストの世界である。人間の熟練や反射に比べてコンピューターは存外遅いものであると感じてしまう。

